

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3111334号

(U3111334)

(45) 発行日 平成17年7月14日(2005.7.14)

(24) 登録日 平成17年6月1日(2005.6.1)

(51) Int.Cl.⁷

A47G 9/10

F I

A 4 7 G 9/10

A

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 実願2005-2303 (U2005-2303)
 (22) 出願日 平成17年4月14日(2005.4.14)

(73) 実用新案権者 505140007
 中村 保信
 東京都足立区大谷田 3-20-6
 (74) 代理人 100066223
 弁理士 中村 政美
 (72) 考案者 中村 保信
 東京都足立区大谷田 3-20-6

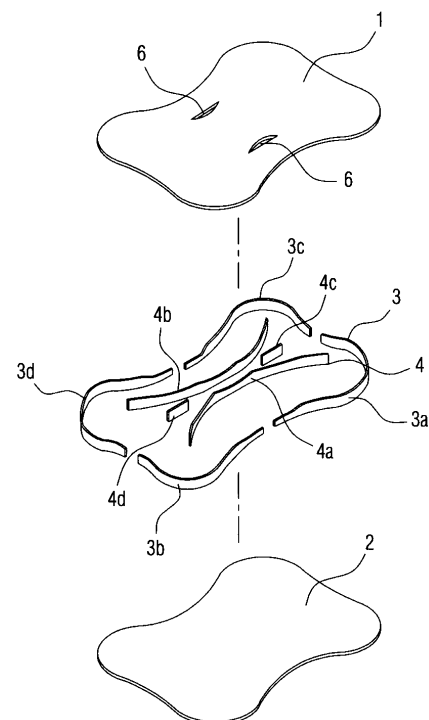
(54) 【考案の名称】快眠枕

(57) 【要約】

【課題】使用者に合った高さを選択して利用でき、仰向けの姿勢でも横向きの姿勢でも対応可能で、頸椎の圧迫を確実に抑制でき、軀を軽減でき、首部の蒸れ等を確実に解消でき、構成簡素で、量産に適し、経済的で、取扱い易く、使い勝手の優れた枕を提供する。

【解決手段】前辺部と後辺部の中央部分に首用湾曲凹部 A 2 を設け、表面生地 1 と裏面生地 2 と周側面生地 3 とで枕外殻体を構成し、表面生地 1 と裏面生地 2 の所定位置に複数の中仕切片 4 を設け、枕外殻体内に適宜充填材 20 を充填して枕本体 A を構成し、中仕切片 4 の第 1 中仕切片 4 a と、第 2 中仕切片 4 b と、第 3 中仕切片 4 c と、第 4 中仕切片 4 d とを配する枕本体 A の中央稍前部分と右前部分と左前部分と中央稍後部分と右後部分と左後部分と右中央部分と左中央部分とを頭乗せ部 A 1 とし、各頭乗せ部 A 1 の高さが夫々異なるよう構成する。

【選択図】図 2



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

前辺部と、後辺部と、右辺部と、左辺部とを有し、少なくとも前辺部の中央部分と後辺部の中央部分に大きな首用湾曲凹部を設けた枕であって、表面生地と、裏面生地と、これらの表面生地と裏面生地の外周縁部分に縫着される周側面生地とで枕外殻体を構成し、表面生地と裏面生地の所定位置には、その部分に於ける表面生地と裏面生地との間隔を夫々所定寸法に設定する複数の中仕切片を設け、この中仕切片が設けられた枕外殻体内に適宜充填材を充填せしめて枕本体を構成し、前記中仕切片は、第 1 中仕切片と、第 2 中仕切片と、第 3 中仕切片と、第 4 中仕切片とを備え、第 1 中仕切片は、枕本体の中央稍前部分と右前部分と左前部分とに跨るように配され、第 2 中仕切片は、枕本体の中央稍後部分と右後部分と左後部分とに跨るように配され、第 3 中仕切片は、枕本体の右中央部分に配され、第 4 中仕切片は、枕本体の左中央部分に配され、これらの中仕切片が配されている前記枕本体の中央稍前部分と右前部分と左前部分と中央稍後部分と右後部分と左後部分と右中央部分と左中央部分とが夫々頭乗せ部となるように形成すると共に、これらの各頭乗せ部の高さが夫々異なる高さとなるよう構成したことを特徴とする快眠枕。

【請求項 2】

前記第 1 中仕切片及び第 2 中仕切片は、その上端縁及び下端縁に於いて中央と右と左に頭用湾曲凹部を夫々設け、前記第 3 中仕切片及び第 4 中仕切片は、その上端縁及び下端縁に於いて頭用湾曲凹部を夫々設け、枕本体の中央稍前部分と右前部分と左前部分と中央稍後部分と右後部分と左後部分と右中央部分と左中央部分の頭乗せ部夫々が、湾曲状に窪むように構成したことを特徴とする請求項 1 記載の快眠枕。

【請求項 3】

前記裏面生地を、裏面内がわ生地と裏面外がわ生地で構成し、裏面内がわ生地に充填用筒片が連設される充填用開口部を設け、この充填用開口部から充填材を裏面内がわ生地と裏面外がわ生地との間に部分的に或いは全体的に補充できるよう構成したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の快眠枕。

【請求項 4】

前記枕本体の裏面生地がわに於いて、前辺部中央と後辺部中央とにその両端部分が固着されると共に適宜弾性材で形成されるマット固定帯片を設け、右辺部及び左辺部に、マット固定片を夫々固着し、これらのマット固定帯片及びマット固定片を介して、適宜厚みの高さ調節用マットを枕本体の裏面生地がわに重合できるよう構成したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 記載の快眠枕。

【請求項 5】

前記枕本体の裏面生地を面着材で構成し、この面着材に着脱自在に取付け可能となる面着テープを備えた部分高さ調節用マットを形成し、この部分高さ調節用マットが裏面生地の任意の位置に着脱自在に取付け可能となるよう構成したことを特徴とする請求項 1 または請求項 2 または請求項 3 または請求項 4 記載の快眠枕。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、主に、一つの枕に夫々高さ等の異なる複数の頭乗せ部を設けておき、使用者に合った高さの頭乗せ部を選択して利用することができ、しかも、仰向けの姿勢でも横向きの姿勢でも対応可能で、更に、枕による頸椎の圧迫を抑制でき、鼾を軽減できて、首部の蒸れを解消できるように工夫した快眠枕に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、この種の枕としては種々のものが提案されており、最近では低反発ウレタンで一体的に構成されたものが数多く提供されている。

また、例えば、特許文献 1 に示すような枕が提案されている。

そして、前記特許文献 1 に示すような枕は、上面布地と下面布地との間にマチ布をそれ

10

20

30

40

50

それ縫い合わせて、2つのボックス型、後頭部ボックス型、頸椎部ボックス型を作り、それぞれのボックス型の、下面布地の各ボックス型のそれぞれの位置にファスナーを取り付けて、ファスナー口から詰物を出したり入れたりすることにより、マチ布で作る中央中部の後頭部ボックス型で、後頭部の高さ、マチ布で作る中央下部の頸椎部ボックス型で、頸椎部の高さをそれぞれ調整し、枕の上面すなわち、上面布地の面の高さを、各部位ごとに調節するものである。

【0003】

【特許文献1】 実用新案登録第3072901号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

10

【0004】

ところが、低反発ウレタンで構成された枕にあっては、枕の形が頭の形に合わせて変形するため、頸椎が枕によって圧迫される難点や、夏期等にあっては首部が蒸れ易い等の難点があった。すなわち、頸椎が圧迫されると、血行不良や、肩こりや、頭痛や、首痛や、顔のむくみ等が生じる虞があった。しかも、頭の重さ等に応じて変形するため、頭の高さが利用者によって異なる難点や、高さの調節ができない難点等があった。

また、特許文献1に示すような枕にあっては、頸椎が枕によって圧迫される難点や、夏期等にあっては首部が蒸れ易い等の難点があった。しかも、枕の中央と左右に頭を乗せることができ、中央部分のみが高さ調節できるように形成してあるが、より多くの使用者に対応させるのは難しい等の難点があった。

20

【課題を解決するための手段】

【0005】

そこで、本考案は、前述の如き難点等を解消できるようにすると共に、使用者に合った高さを選択して利用でき、仰向けの姿勢でも横向きの姿勢でも対応可能で、枕による頸椎の圧迫を抑制でき、鼾を軽減でき、首部の蒸れを解消できるような快眠枕を構成簡素に提供すべく案出されたものである。

しかして、請求項1記載の快眠枕にあっては、前辺部と、後辺部と、右辺部と、左辺部とを有し、少なくとも前辺部の中央部分と後辺部の中央部分に大きな首用湾曲凹部A2を設けた枕であって、表面生地1と、裏面生地2と、これらの表面生地1と裏面生地2の外周縁部分に縫着される周側面生地3とで枕外殻体を構成し、表面生地1と裏面生地2の所定位置には、その部分に於ける表面生地1と裏面生地2との間隔を夫々所定寸法に設定する複数の中仕切片4を設け、この中仕切片4が設けられた枕外殻体内に適宜充填材20を充填せしめて枕本体Aを構成し、前記中仕切片4は、第1中仕切片4aと、第2中仕切片4bと、第3中仕切片4cと、第4中仕切片4dとを備え、第1中仕切片4aは、枕本体Aの中央稍前部分と右前部分と左前部分とに跨るように配され、第2中仕切片4bは、枕本体Aの中央稍後部分と右後部分と左後部分とに跨るように配され、第3中仕切片4cは、枕本体Aの右中央部分に配され、第4中仕切片4dは、枕本体Aの左中央部分に配され、これらの中仕切片4が配されている前記枕本体Aの中央稍前部分と右前部分と左前部分と中央稍後部分と右後部分と左後部分と右中央部分と左中央部分とが夫々頭乗せ部A1となるように形成すると共に、これらの各頭乗せ部A1の高さが夫々異なる高さとなるよう構成する手段を採用した。

30

40

【0006】

また、請求項2記載の快眠枕にあっては、前記第1中仕切片4a及び第2中仕切片4bは、その上端縁及び下端縁に於いて中央と右と左に頭用湾曲凹部を夫々設け、前記第3中仕切片4c及び第4中仕切片4dは、その上端縁及び下端縁に於いて頭用湾曲凹部を夫々設け、枕本体Aの中央稍前部分と右前部分と左前部分と中央稍後部分と右後部分と左後部分と右中央部分と左中央部分の頭乗せ部A1夫々が、湾曲状に窪むように構成する手段を採用した。

【0007】

更に、請求項3記載の快眠枕にあっては、前記裏面生地2を、裏面内がわ生地2aと裏

50

面外がわ生地 2 b で構成し、裏面内がわ生地 2 a に充填用筒片 1 1 が連設される充填用開口部 1 0 を設け、この充填用開口部 1 0 から充填材 2 0 を裏面内がわ生地 2 a と裏面外がわ生地 2 b との間に部分的に或いは全体的に補充できるよう構成する手段を採用した。

【0008】

そして、請求項 4 記載の快眠枕にあっては、前記枕本体 A の裏面生地 2 がわに於いて、前辺部中央と後辺部中央とにその両端部分が固着されると共に適宜弾性材で形成されるマット固定帯片 1 2 を設け、右辺部及び左辺部に、マット固定片 1 3 を夫々固着し、これらのマット固定帯片 1 2 及びマット固定片 1 3 を介して、適宜厚みの高さ調節用マット B を枕本体 A の裏面生地 2 がわに重合できるよう構成する手段を採用した。

【0009】

それから、請求項 5 記載の快眠枕にあっては、前記枕本体 A の裏面生地 2 を面着材で構成し、この面着材に着脱自在に取付け可能となる面着テープ 2 5 を備えた部分高さ調節用マット C を形成し、この部分高さ調節用マット C が裏面生地 2 の任意の位置に着脱自在に取付け可能となるよう構成する手段を採用した。

【考案の効果】

【0010】

従って、本考案の請求項 1 記載の快眠枕によれば、使用者に合った高さを選択して利用でき、仰向けの姿勢でも横向きの姿勢でも対応可能で、枕による頸椎の圧迫を抑制でき、軀を軽減でき、首部の蒸れを解消でき、しかも、構成簡素で、量産に適し、経済的で、取扱い易く、使い勝手の優れたものを提供できるようになる。

特に、少なくとも前辺部の中央部分と後辺部の中央部分に大きな首用湾曲凹部 A 2 を設けてあるので、頸椎が湾曲凹部 A 2 部分に位置するようになり、頸椎が枕によって圧迫されるのを確実に抑制できるようになり、頸椎圧迫による血行不良や、肩こりや、頭痛や、首痛や、顔のむくみ等の発生を抑制できるようになる。

更に、湾曲凹部 A 2 によって、首部と枕との間に隙間ができるようになり、首部の蒸れ等を確実に解消できるようになる。

加えて、一つの枕に夫々高さ等の異なる複数の頭乗せ部 A 1 を設けることができ、使用者に合った高さの頭乗せ部 A 1 を選択して利用することができるようになる。すなわち、高さ等が僅かに異なるだけで感じられる使用者の違和感等を、複数の頭乗せ部 A 1の中から選択することにより、確実に解消できるようになる。

【0011】

また、本考案の請求項 2 記載の快眠枕によれば、複数の頭乗せ部 A 1 夫々が湾曲状に窪むようになるため、頭を安定した状態で頭乗せ部 A 1 に乗せられるようになる。

特に、横向きの姿勢で寝ている時に、顎を首部がわに引き寄せ難くなり、軀を確実に軽減できるようになる。ひいては、安眠でき、健康的な枕となる。

【0012】

更に、本考案の請求項 3 記載の快眠枕によれば、充填材 2 0 の補充や補修等が部分的に或いは全体的に行えるようになり、枕本体 A 自体を所望の形状、寸法に変更（或いは、維持）でき、長期の使用に最適となる。しかも、充填材 2 0 の補充や補修等が誰でも簡単に行えるようになる。加えて、充填用筒片 1 1 を通過できるような大きさの部分高さ調節用マット C を所望位置に配することもできるようになる。

すなわち、使用者に最適な枕となるような微調節が可能なものとなる。ひいては、高さ等が僅かに異なるだけで感じられる使用者の違和感等を、確実に解消できるようになる。

【0013】

そして、本考案の請求項 4 記載の快眠枕によれば、枕本体 A の全体的な高さを、誰でも簡単に使用者に合ったものに調節できるようになる。しかも、高さ調節用マット B の枚数を増やすことが可能で、その高さ調節を細かく設定できるようになると共に、その高さ調節範囲が大きいものとなる。更に、マット固定帯片 1 2 とマット固定片 1 3 によって、高さ調節用マット B を安定的に枕本体 A に装着できるようになる。

【0014】

10

20

30

40

50

それから、本考案の請求項 5 記載の快眠枕によれば、枕本体 A の任意の位置に部分高さ調節用マット C を装着でき、枕本体 A を部分的に使用者に合った高さに簡単に調節できるようになる。しかも、その取扱いが容易である。

【考案を実施するための最良の形態】

【0015】

以下、本考案を説明すると、次の通りである。

本考案の快眠枕は、前辺部と、後辺部と、右辺部と、左辺部とを有し、少なくとも前辺部の中央部分と後辺部の中央部分に大きな首用湾曲凹部 A 2 を設けた枕である。

そして、表面生地 1 と、裏面生地 2 と、これらの表面生地 1 と裏面生地 2 の外周縁部分に縫着される周側面生地 3 とで枕外殻体を構成し、表面生地 1 と裏面生地 2 の所定位置には、その部分に於ける表面生地 1 と裏面生地 2 との間隔を夫々所定寸法に設定する複数の中仕切片 4 を設け、この中仕切片 4 が設けられた枕外殻体内に適宜充填材 20 を充填せしめて枕本体 A を構成する。 10

更に、前記中仕切片 4 は、第 1 中仕切片 4 a と、第 2 中仕切片 4 b と、第 3 中仕切片 4 c と、第 4 中仕切片 4 d とを備え、第 1 中仕切片 4 a は、枕本体 A の中央稍前部分と右前部分と左前部分とに跨るように配され、第 2 中仕切片 4 b は、枕本体 A の中央稍後部分と右後部分と左後部分とに跨るように配され、第 3 中仕切片 4 c は、枕本体 A の右中央部分に配され、第 4 中仕切片 4 d は、枕本体 A の左中央部分に配され、これらの中仕切片 4 が配されている前記枕本体 A の中央稍前部分と右前部分と左前部分と中央稍後部分と右後部分と左後部分と右中央部分と左中央部分とが夫々頭乗せ部 A 1 となるように形成すると共に、これらの各頭乗せ部 A 1 の高さが夫々異なる高さとなるよう構成されている。 20

【実施例】

【0016】

そして、図示例の快眠枕にあつては、前記第 1 中仕切片 4 a 及び第 2 中仕切片 4 b は、その上端縁及び下端縁に於いて中央と右と左に頭用湾曲凹部を夫々設け、前記第 3 中仕切片 4 c 及び第 4 中仕切片 4 d は、その上端縁及び下端縁に於いて頭用湾曲凹部を夫々設け、枕本体 A の中央稍前部分と右前部分と左前部分と中央稍後部分と右後部分と左後部分と右中央部分と左中央部分の頭乗せ部 A 1 夫々が、湾曲状に窪むように構成されている。

【0017】

また、前記裏面生地 2 或いは表面生地 1 に充填用筒片 11 が連設される充填用開口部 10 を設け、この充填用開口部 10 から充填材 20 を部分的に補充できるように構成しても良い。 30

加えて、前記裏面生地 2 は、表面生地 1 にその周縁部分が縫着される裏面内がわ生地 2 a と裏面外がわ生地 2 b で構成し、裏面外がわ生地 2 b に充填用筒片 11 が連設される充填用開口部 10 を設け、この充填用開口部 10 から充填材 20 を裏面内がわ生地 2 a と裏面外がわ生地 2 b との間に部分的に或いは全体的に補充できるよう構成されている（図 7 参照）。すなわち、この裏面内がわ生地 2 a と裏面外がわ生地 2 b との間に部分的に或いは全体的に充填材 20 を補充することで、枕の部分的な高さや、部分的な形状や、全体的な高さや、全体的な形状等を、使用者に応じて簡単に調節できるように構成されている。尚、裏面内がわ生地 2 a の一部（裏面外がわ生地 2 b の充填用開口部 10 の近傍）に充填 40 用開口部 10 を設けておき、充填材 20 の部分的調節が行えるようにしても良い。

【0018】

更に、前記枕本体 A の裏面生地 2 がわに於いて、前辺部中央と後辺部中央とにその両端部分が固着されると共に適宜弾性材で形成されるマット固定帯片 12 を設け、右辺部及び左辺部に、マット固定片 13 を夫々固着し、これらのマット固定帯片 12 及びマット固定片 13 を介して、適宜厚みの高さ調節用マット B を枕本体 A の裏面生地 2 がわに重合できるよう構成されている（図 5、図 6 参照）。

【0019】

そして、前記枕本体 A の裏面生地 2 を面着材で構成し、この面着材に着脱自在に取付け可能となる面着テープ 25 を備えた部分高さ調節用マット C を形成し、この部分高さ調節 50

用マットCが裏面生地2の任意の位置に着脱自在に取付け可能となるよう構成されている(図8参照)。

【0020】

前記表面生地1と裏面生地2は、例えば、適宜材質の生地等が利用され、夫々平面略蝶形状に形成されている。

ところで、前記裏面生地2は、適宜材質の生地等を平面略蝶形状に形成したような裏面内がわ生地2aと裏面外がわ生地2bで構成しても良い。

【0021】

前記周側面生地3は、例えば、適宜材質の生地等が利用され、前辺部中央部から右辺部中央部に互って配される第1側面生地片3aと、前辺部中央部から左辺部中央部に互って配される第2側面生地片3bと、後辺部中央部から右辺部中央部に互って配される第3側面生地片3cと、後辺部中央部から左辺部中央部に互って配される第4側面生地片3dとからなり、表面生地1と裏面生地2の外周縁部分を結ぶように縫着されると共に、表面生地1と裏面生地2の外周縁部分の間隔(高さ)を所定の寸法に設定できるように構成されている。しかも、第1側面生地片3a、第2側面生地片3b、第3側面生地片3c、第4側面生地片3d相互も縫着されている。

尚、周側面生地3は、前述のように複数の第1側面生地片3a、第2側面生地片3b、第3側面生地片3c、第4側面生地片3dによって構成したものであっても良いし、或いは、一つに形成されたものであっても良い。

【0022】

前記中仕切片4は、例えば、適宜材質の生地等が利用され、その上下端縁部分を表面生地1と裏面生地2に夫々縫着することにより所定位置に固定されている。

更に、中仕切片4は、枕本体Aの中央稍前部分(左右方向中央で、前辺寄り部分)と右前部分(左右方向右がわで、更に前辺寄り部分)と左前部分(左右方向左がわで、更に前辺寄り部分)とに跨るように平面略弓形状に配される第1中仕切片4aと、枕本体Aの中央稍後部分(左右方向中央で、後辺寄り部分)と右後部分(左右方向右がわで、更に後辺寄り部分)と左後部分(左右方向左がわで、更に後辺寄り部分)とに跨るように平面略弓形状に配される第2中仕切片4bと、枕本体Aの右中央部分(左右方向右がわで、前後方向中央部分)に配される第3中仕切片4cと、枕本体Aの左中央部分(左右方向左がわで、前後方向中央部分)に配される第4中仕切片4dとで構成されている(図4参照)。

【0023】

そして、第1中仕切片4aは、その上端縁及び下端縁に於いて中央と右と左に頭用湾曲凹部が夫々設けられ、第2中仕切片4bは、その上端縁及び下端縁に於いて中央と右と左に頭用湾曲凹部が夫々設けられ、第3中仕切片4cは、その上端縁及び下端縁に於いて頭用湾曲凹部が夫々設けられ、第4中仕切片4dは、その上端縁及び下端縁に於いて頭用湾曲凹部が夫々設けられており、これら頭用湾曲凹部が、前記頭乗せ部A1に対応するように構成してある。

すなわち、枕本体Aの中央稍前部分と右前部分と左前部分と中央稍後部分と右後部分と左後部分と右中央部分と左中央部分の頭乗せ部A1夫々が、湾曲状に窪むようになり、頭を頭乗せ部A1に安定した状態で乗せられるように構成されている。

尚、湾曲状に窪む頭乗せ部A1以外の部分は、上方に膨出するようになり、例えば、横向きの姿勢で寝ている時に、顎を首部がわに引き寄せ難くなるように構成されている。

【0024】

図中5は、第5中仕切片で、この第5中仕切片5は、例えば、適宜材質の生地等が利用され、第1中仕切片4aや第2中仕切片4bの両端部と、第3中仕切片4cや第4中仕切片4dの外がわ端部とを結ぶように形成されている(図9参照)。

すなわち、中仕切片4と複数の第5中仕切片5とで圍繞された空間が設けられるようにし、充填材20の移動を阻止(或いは制限)できるようにすると共に、枕本体A自体を長期に互って所望の形状に維持できるように構成されている。

【0025】

図中 6 は、例えば、表面生地 1 の左右方向中央の前辺部寄りと後辺部寄りに夫々設けられる略三日月状の寸法調節用切欠部を示し、この寸法調節用切欠部 6 は、その開口縁の長辺部分を相互に縫着することにより、枕本体 A の前辺部分から第 1 中仕切片 4 a の左右方向中央部分迄の距離と、枕本体 A の後辺部分から第 2 中仕切片 4 b の左右方向中央部分迄の距離とを、夫々調節できるように構成されたものである。すなわち、寸法調節用切欠部 6 の開口幅によって、前記調節寸法が決定されるようになる。

【0026】

前記充填用開口部 10 は、例えば、前記裏面生地 2 或いは表面生地 1 の適宜位置に適数設けられるもので、この充填用開口部 10 を利用して、充填材 20 を枕本体 A 内に部分的に補充、修正できるように構成されたものである。

10

【0027】

前記充填用筒片 11 は、例えば、適宜材質の生地等で略円筒状に形成され、しかも、充填用開口部 10 の孔縁部分にその基端部分が縫着されている。すなわち、この充填用筒片 11 を充填用開口部 10 を介して枕本体 A 内に押し込むことによって、充填用開口部 10 を閉鎖したり、或いは、枕本体 A 内から充填用筒片 11 を引出すことによって、充填用開口部 10 を開口できるように構成されたものである。

尚、充填用開口部 10 の開閉手段としては、図 10 に示すように充填用筒片 11 に代えてファスナー等の止着具 15 を利用しても良い。

【0028】

前記マット固定帯片 12 は、例えば、略帯紐状のゴム材等が利用され、その両端部分が枕本体 A の前辺部中央と後辺部中央とに縫着されると共に、裏面生地 2 がわに配置されている。

20

すなわち、マット固定帯片 12 は、高さ調節用マット B を裏面生地 2 の表面に安定的に保持しておけるように構成されている。

【0029】

前記マット固定片 13 は、例えば、適宜材質の生地等で略帯片状に形成され、その基端部分が枕本体 A の右辺部中央と左辺部中央とに夫々縫着されている。しかも、その表裏面（或いは表面、或いは裏面でも良い）には、適宜面着テープが縫着（或いは接着、その他でも良い）されている。

すなわち、マット固定片 13 は、面着テープを介して高さ調節用マット B の裏面に取外し可能に取付けでき、高さ調節用マット B を裏面生地 2 の表面に安定的に保持しておけるように構成されている。

30

尚、高さ調節用マット B の裏面には、マット固定片 13 に設けた面着テープに対応するような面着テープを予め固定してあっても良いし、或いは、高さ調節用マット B の裏面自体が、マット固定片 13 に設けた面着テープが取付けられる面着テープ状に構成したものであっても良い。

【0030】

前記充填材 20 は、例えば、綿や、ウールや、化学繊維や、羽毛や、パイプ材や、球形材や、ひのきチップや、そばがらや、その他の適宜材料が利用でき、しかも、これらを適宜組合せたものであっても良い。

40

また、裏面内がわ生地 2 a と裏面外がわ生地 2 b との間に配される充填材 20 は、前述のような材料を適宜小袋体内に充填したもの（例えば、部分高さ調節用マット C を小さくしたようなもの等）を利用しても良い。

【0031】

前記高さ調節用マット B は、例えば、適宜厚み（例えば、5 mm）のシート材によって略蝶状に構成されており、裏面生地 2 表面に安定的に配置できるよう構成されている。

【0032】

前記部分高さ調節用マット C は、例えば、比較的小さな適宜袋状の外殻体内に適宜充填材を充填して構成され、その表面には面着テープ 25 が縫着されている。このとき、枕本体 A の裏面生地 2 は、適宜面着材で構成されており、調節用マット C を面着テープ 25 を

50

介して裏面生地 2 の任意の位置に着脱自在に取付けできるよう構成されている。

すなわち、枕本体 A の任意の位置に部分高さ調節用マット C が装着できるように形成して、枕本体 A を部分的に使用者に合った高さに簡単に調節できるように構成されている。

【0033】

ところで、快眠枕の具体的構成、形状、寸法、材質、枕本体 A の具体的構成、形状、寸法、材質、頭乗せ部 A 1 の具体的形状、寸法、数、配設位置、湾曲凹部 A 2 の具体的構成、形状、寸法、表面生地 1 の具体的構成、形状、材質、裏面生地 2 の具体的構成、形状、寸法、材質、裏面内がわ生地 2 a の具体的構成、形状、寸法、材質、裏面外がわ生地 2 b の具体的構成、形状、寸法、材質、周側面生地 3 (第 1 側面生地片 3 a、第 2 側面生地片 3 b、第 3 側面生地片 3 c、第 4 側面生地片 3 d) の具体的構成、形状、寸法、材質、数 10、中仕切片 4 (第 1 中仕切片 4 a、第 2 中仕切片 4 b、第 3 中仕切片 4 c、第 4 中仕切片 4 d) の具体的構成、形状、寸法、数、配設位置、第 5 中仕切片 5 の具体的構成、形状、寸法、数、配設位置、寸法調節用切欠部 6 の具体的構成、形状、寸法、数、配設位置、充填用開口部 10 の具体的構成、形状、寸法、数、配設位置、充填用筒片 11 の具体的構成、形状、寸法、材質、数、配設位置、マット固定帯片 12 の具体的構成、形状、寸法、材質、数、配設位置、マット固定片 13 の具体的構成、形状、寸法、材質、数、配設位置、止着具 15 の具体的構成、形状、寸法、材質、数、配設位置、充填材 20 の具体的構成、形状、寸法、材質、高さ調節用マット B の具体的構成、形状、寸法、材質、部分高さ調節用マット C の具体的構成、形状、寸法、材質、数、面着テープ 25 の具体的構成、形状、寸法、材質、数、配設位置等は図示例のもの等に限定されことなく適宜自由に設定、変 20

【図面の簡単な説明】

【0034】

【図 1】本考案を例示する斜視図である。

【図 2】本考案を例示する分解斜視図である。

【図 3】本考案を例示する縦断側面図である。

【図 4】本考案を例示する横断平面図である。

【図 5】本考案の他の実施例を示す斜視図である。

【図 6】本考案の他の実施例を示す側面図である。

【図 7】本考案の部分断面図である。

【図 8】本考案の他の実施例を示す斜視図である。

【図 9】本考案の他の実施例を示す部分斜視図である。

【図 10】本考案の他の実施例を示す底面図である。

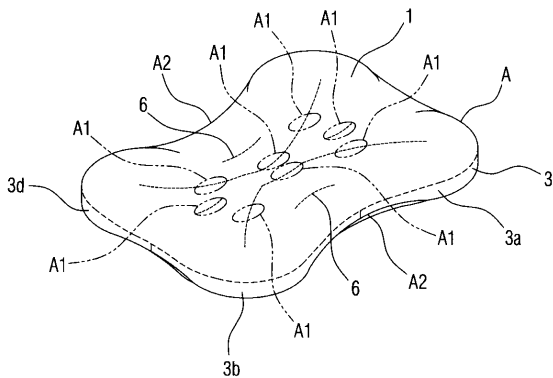
【符号の説明】

【0035】

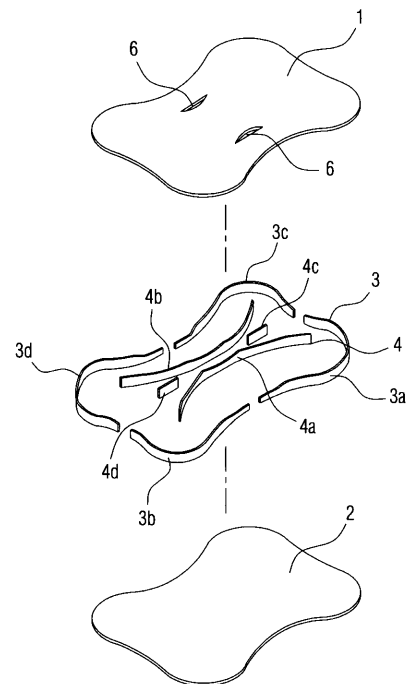
- A 枕本体
- A 1 頭乗せ部
- A 2 湾曲凹部
- 1 表面生地
- 2 裏面生地
- 2 a 裏面内がわ生地
- 2 b 裏面外がわ生地
- 3 周側面生地
- 3 a 第 1 側面生地片
- 3 b 第 2 側面生地片
- 3 c 第 3 側面生地片
- 3 d 第 4 側面生地片
- 4 中仕切片
- 4 a 第 1 中仕切片
- 4 b 第 2 中仕切片

- 4 c 第 3 中仕切片
- 4 d 第 4 中仕切片
- 5 第 5 中仕切片
- 6 寸法調節用切欠部
- 1 0 充填用開口部
- 1 1 充填用筒片
- 1 2 マット固定帯片
- 1 3 マット固定片
- 1 5 止着具
- 2 0 充填材
- B 高さ調節用マット
- C 部分高さ調節用マット
- 2 5 面着テープ

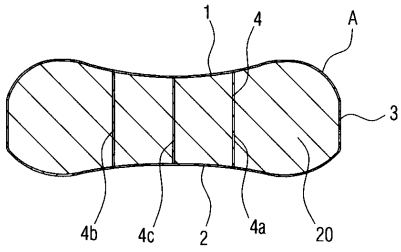
【図 1】



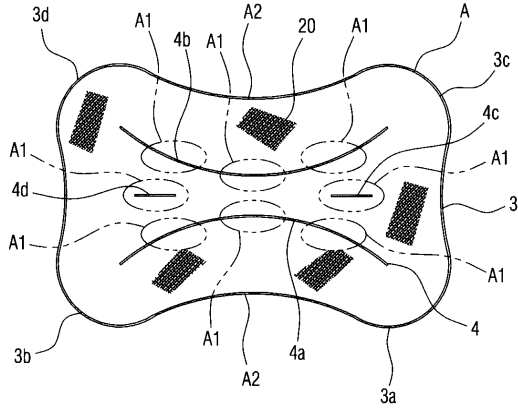
【図 2】



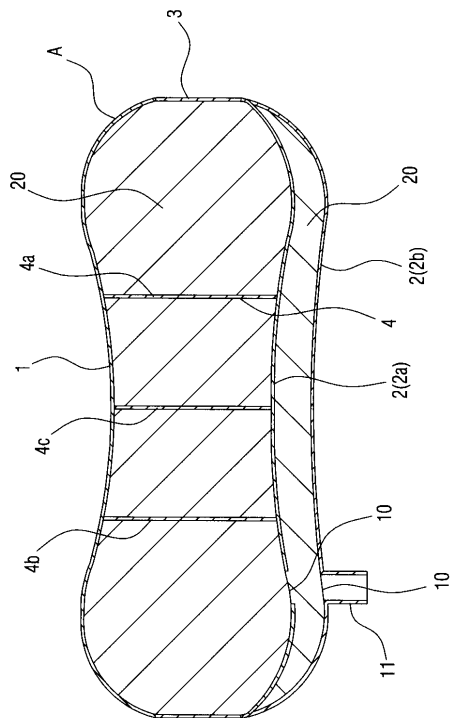
【図 3】



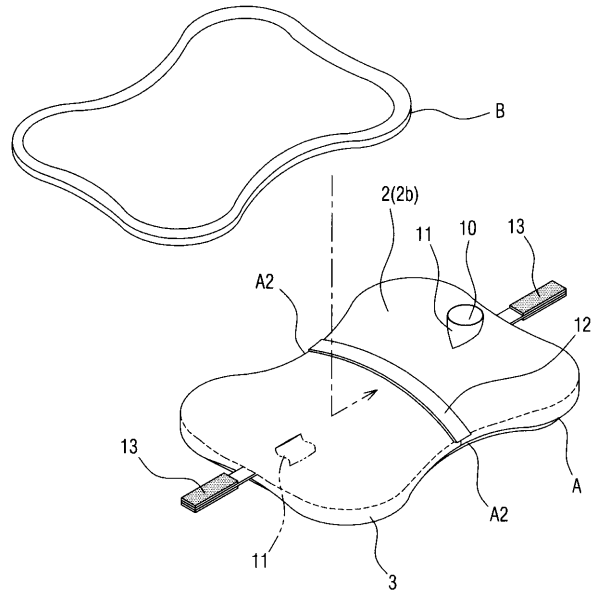
【図 4】



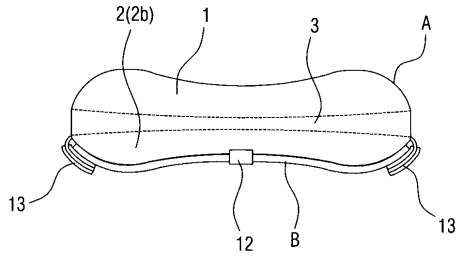
【図 7】



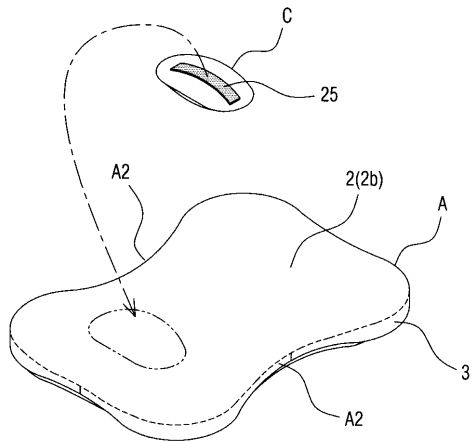
【図 5】



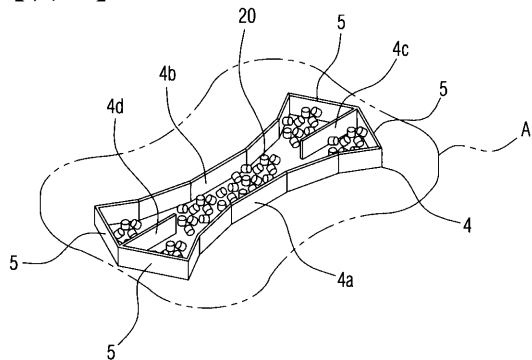
【図 6】



【図 8】



【図 9】



【図 10】

